

仮称

文化の森

準備だより②

めざすのは

アットホームミュージアム

今回の「文化の森・市民ミュージアム」の計画に際し、「展示の「目玉」は何かとよく聞かれます。「川とひと」を全体の背景にあるテーマとし、この地域の特性を生かしたい」という分野の展示を計画しています（順次紹介していく予定です）が、あえて「これが目玉の展示物です」とはいいません。

一般的に「博物館」や「ミュージアム」というと、何か古いものが陳列してあって、一度行ったら二度と行くことは少ないというイメージがつきまといます。

今回の文化の森の計画ではむしろ「運営」や「活動」をその「目玉」としていきたいと考えています。幸いにも文化の森予定地には

たくさん素材があります。それを使ったいろいろな事業をどう企画し、また市民のみなさんにどう活動してもらうかが一番大事なことだと考えています。

ここが市民のみなさんの普段の生活の一部として「アットホームミュージアム」となるよう考えています。

